



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 大日本印刷株式会社
 コード番号 7912 URL <http://www.dnp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北島 義俊
 (氏名) 田村 高顕

TEL 03-5225-8220

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	349,151	△1.1	11,486	349.2	14,279	275.1	7,060	—
25年3月期第1四半期	352,949	△4.7	2,556	△65.6	3,807	△65.6	△4,211	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 21,952百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △3,210百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.96	10.96
25年3月期第1四半期	△6.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第1四半期	1,576,671		948,641		57.3	
25年3月期	1,578,976		937,055		56.6	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 903,169百万円 25年3月期 893,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,530,000	5.8	48,000	34.2	49,000	21.5	23,000	19.7	35.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	700,480,693 株	25年3月期	700,480,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	56,499,331 株	25年3月期	56,490,329 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	643,986,211 株	25年3月期1Q	644,061,498 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場の動向などを前提として作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一連の経済政策の効果により、企業収益の改善や個人消費の回復などの明るい兆しが見られましたが、欧州の財政危機や新興国の景気減速などの懸念材料もあり、不透明な状況が続きました。

印刷業界においては、原材料価格の上昇や競争激化による受注単価の下落もあり、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況のなか、DNPグループ（以下DNP）は、事業ビジョン「P&Iソリューション」に基づき、「未来のあたりまえを作る。」をキャッチフレーズとして積極的な事業活動を展開し、顧客ニーズに対応した製品、サービス及びソリューションを提供するとともに、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制の確立を目指す「モノづくり21活動」に取り組みました。また、全体最適の視点に立って国内外の事業体制の再編を進めるとともに、生活者の視点や、ソーシャル、グローバルな視点での事業展開にも積極的に取り組み、業績確保に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は3,491億円（前年同期比1.1%減）、連結営業利益は114億円（前年同期比349.2%増）、連結経常利益は142億円（前年同期比275.1%増）、連結四半期純利益は70億円（前年同期は42億円の純損失）となりました。

部門別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、書籍の印刷から製本までを一貫して行う製造ラインを活かした積極的な営業活動により書籍は増加しましたが、雑誌の減少を補えず、前年を下回りました。

商業印刷関連は、チラシ、パンフレット、カタログなどの印刷物が全般的に減少し、前年を下回りました。

ビジネスフォーム関連は、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIPS（Information Processing Services）やICカードなどが増加し好調に推移しました。

教育・出版流通事業は、リアルな書店、ネット書店、電子書籍の販売サービスを連携させたハイブリッド型総合書店「h o n t o」の事業拡大に努めたものの、書店市場の厳しい状況が続き、前年から減少しました。

その結果、部門全体の売上高は1,726億円（前年同期比2.8%減）、営業利益は37億円（前年同期比0.4%減）となりました。

・生活・産業部門

包装関連は、ペットボトル用無菌充填システムの販売が減少したことに加え、紙器、軟包装も減少し、前年を下回りました。

住空間マテリアル関連は、国内の住宅市場が緩やかに持ち直しつつあり、DNP独自のEB（Electron Beam）コーティング技術を活かした環境配慮製品などが堅調に推移し、前年を上回りました。

産業資材関連は、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムや、フォトプリンター用の昇華型熱転写記録材（カラーインクリボンと受像紙）などが増加し、前年を上回りました。

その結果、部門全体の売上高は1,260億円（前年同期比1.0%減）、営業利益は76億円（前年同期比56.6%増）となりました。

・エレクトロニクス部門

液晶カラーフィルターは、大型テレビ向けは前年を下回りましたが、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品が堅調に推移しました。

電子デバイス関連は、半導体市場の厳しい状況が続いており、フォトマスクは前年並みを確保しましたが、ハードディスク用サスペンションなどのエッチング製品が減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は420億円（前年同期比1.6%減）、営業利益は27億円（前年同期は34億円の営業損失）となりました。

【清涼飲料事業】

・清涼飲料部門

清涼飲料市場が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなかで、主力商品の「コカ・コーラ」「ジョージア」のほか、軽量ペットボトルを使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」の販売拡大に努めました。

その結果、ミネラルウォーターは増加しましたが、コーヒー飲料が減少し、部門全体の売上高は117億円（前年同期比0.1%減）、営業損失は4億円（前年同期は5億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、投資有価証券の増加や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ23億円減少し、1兆5,766億円となりました。

負債は、賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ138億円減少し、6,280億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ115億円増加し、9,486億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.6%から57.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績見通しにつきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,630	223,615
受取手形及び売掛金	367,765	347,435
商品及び製品	91,047	92,973
仕掛品	29,030	30,995
原材料及び貯蔵品	18,977	20,205
その他	33,583	27,409
貸倒引当金	△2,883	△2,784
流動資産合計	751,150	739,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	196,019	194,547
機械装置及び運搬具(純額)	129,350	127,225
土地	154,005	152,217
建設仮勘定	22,921	25,298
その他(純額)	36,157	35,406
有形固定資産合計	538,454	534,696
無形固定資産		
その他	35,480	34,324
無形固定資産合計	35,480	34,324
投資その他の資産		
投資有価証券	189,657	203,037
その他	70,210	70,639
貸倒引当金	△5,977	△5,876
投資その他の資産合計	253,890	267,800
固定資産合計	827,825	836,822
資産合計	1,578,976	1,576,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,567	251,313
短期借入金	47,296	44,880
1年内償還予定の社債	50,760	50,740
賞与引当金	16,004	5,791
その他	94,156	90,945
流動負債合計	457,784	443,670
固定負債		
社債	102,800	102,595
長期借入金	19,548	19,570
退職給付引当金	26,441	26,523
その他	35,345	35,670
固定負債合計	184,135	184,359
負債合計	641,920	628,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	722,057	718,805
自己株式	△94,226	△94,234
株主資本合計	887,193	883,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,908	27,058
繰延ヘッジ損益	8	△6
為替換算調整勘定	△12,986	△7,815
その他の包括利益累計額合計	5,930	19,235
新株予約権	16	16
少数株主持分	43,915	45,455
純資産合計	937,055	948,641
負債純資産合計	1,578,976	1,576,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	352,949	349,151
売上原価	293,326	282,515
売上総利益	59,623	66,636
販売費及び一般管理費	57,066	55,150
営業利益	2,556	11,486
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,058	2,135
持分法による投資利益	56	615
その他	1,475	1,929
営業外収益合計	3,589	4,680
営業外費用		
支払利息	868	865
その他	1,470	1,021
営業外費用合計	2,339	1,886
経常利益	3,807	14,279
特別利益		
固定資産売却益	63	431
受取補償金	—	177
その他	8	15
特別利益合計	72	624
特別損失		
固定資産除売却損	1,363	1,169
投資有価証券評価損	3,636	133
その他	272	175
特別損失合計	5,271	1,478
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,392	13,425
法人税、住民税及び事業税	1,925	2,042
法人税等調整額	175	3,343
法人税等合計	2,101	5,385
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,494	8,040
少数株主利益	717	979
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,211	7,060

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,494	8,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,213	8,018
繰延ヘッジ損益	19	2
為替換算調整勘定	3,483	5,697
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	193
その他の包括利益合計	284	13,912
四半期包括利益	△3,210	21,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,991	20,366
少数株主に係る四半期包括利益	781	1,586

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	176,269	122,167	42,766	11,746	352,949	—	352,949
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,312	5,150	0	0	6,463	△6,463	—
計	177,582	127,317	42,766	11,747	359,413	△6,463	352,949
セグメント利益又は損失(△)	3,757	4,863	△3,430	△529	4,659	△2,103	2,556

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	171,231	124,097	42,093	11,729	349,151	—	349,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,433	1,924	0	0	3,359	△3,359	—
計	172,665	126,021	42,094	11,730	352,511	△3,359	349,151
セグメント利益又は損失(△)	3,742	7,614	2,782	△424	13,714	△2,228	11,486

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上